

第9回 Dlife番組審議会 議事概要 (1/3)

■開催日：平成26年4月21日(月)

■開催場所：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社 会議室

■Dlife番組審議会委員(平成26年4月21日現在)

北村みどり (三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長)
齊藤裕人 (日本大学 芸術学部映画学科教授)
中村伊知哉 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授)
早見優 (歌手)
ピーター・バラカン (ブロードキャスター、Inter FM執行役員)
湯川れい子 (作詞家・音楽評論家、エッセイスト)
吉田知子 (オリコン・エンタテインメント株式会社 取締役兼『オリ★スタ』編集長)
四方田浩一 (元 株式会社キネマ旬報DD 取締役 劇場運営事業部長)

* あいうえお順、敬称略

■出席した委員(敬称略)

北村みどり (三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長)
齊藤裕人 (日本大学 芸術学部映画学科教授)
中村伊知哉 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授)
ピーター・バラカン (ブロードキャスター、Inter FM執行役員)
湯川れい子 (作詞家・音楽評論家、エッセイスト)
四方田浩一 (元 株式会社キネマ旬報DD 取締役 劇場運営事業部長)

■議題

4月 番組改編について

放送種別について (平成25年10月～12月、26年1～3月分)

カスタマーセンター状況報告

番組審議 (作品紹介とディスカッション)

* 審査番組

- ・「マンハッタンに恋をして～キャリアの日記～」
- ・「溺れる女たち～ミストレス～」
- ・「東京ガードセンター」
- ・特別番組「池上彰のワールドニュース深読みスペシャル」

第9回 Dlife番組審議会 議事概要 (2/3)

■議事概要

○番組放送種別について平成25年10月～平成26年3月分まで6カ月間の各第3週目の実績を説明し、承認された。

* 詳細は、ホームページ上に公開。

○カスタマーサービスに寄せられた問い合わせ状況の報告。

・入電者の男女比率、年齢層、視聴者からの問い合わせや要望について報告。

○平成26年2月より展開中の新規視聴者を獲得するための啓蒙型キャンペーンについて報告。

○4月改編のポイントを番組宣伝映像を交えながら説明を行った。

— 21時以降の『プライム・タイム』の時間帯に「マンハッタンに恋をして～キャリアの日記～」
「溺れる女たち～ミストレス～」他、日本初放送となる新作海外ドラマと、Dlife初のオリジナル・ドラマ
「東京ガードセンター」の放送を開始した。

— 昼間の編成の大幅改編について説明を行った。

・平日の午前中に、「奥様は魔女」「チャームド～魔女3姉妹～」を新たに編成し、何度でも楽しみたい名作
ドラマゾーンを新設した。

・月曜から木曜の12:00から、「CSI:科学捜査班」、「ジェシカおばさんの事件簿」等の人気ドラマや
料理番組を配置し、改編した。

・金曜日の昼間にも映画の時間帯を新設し、映画ファンの取り込みを図った。

・週末の午前中には、BBCのニュース番組を配置し、世界のビジネス情報を入手できるゾーンを設けた。
また特別番組として、「池上彰のワールドニュース深読みスペシャル」を放送した。

○委員からは次のような質問、意見・感想が述べられた。

—4月の改編について

・日曜日に新設したBBCのニュース番組でアフリカのビジネスを扱う番組を放送する理由について
質問があり、アメリカやヨーロッパ以外の地域で、エネルギー資源等で注目を集めるアフリカを
取り上げたことが説明された。

・BBCのニュースは、日中の在宅者以外も夜の放送枠があると、より広い層が視聴できるのではないか、
また、週末の日中の増枠は平日の日中に見れない視聴者が楽しめて良い。

・マーサ・スチュワートの料理番組を楽しみにしている平日の視聴ができないファンのために、週末にも
放送があった方がより多くの視聴者が楽しめるのではないかという意見に対し、今後の検討課題と
するとした。

・「マンハッタンに恋をして～キャリアの日記～」について

— 主人公が大人になってからのキャリア・ブラッドショーの主演ドラマ「セックス・アンド・ザ・シティ」の
関連作として興味深い作品である。また、当時のファッションの描写にも趣があり、今後の展開が
期待できる内容になっている。'80年代のファッションが、現代の視聴者にどのように受け止められる
のかも興味深い。

— 視聴者のターゲット年齢についての質問に対し、過去に「セックス・アンド・ザ・シティ」の視聴経験のある
大人の女性層から、主人公と同世代の年代まで幅広く楽しめる作品である事が説明された。

— 主人公を演じるアナソフィア・ロブは、日本で人気がありポテンシャルのある女優ではないか。

第9回 Dlife番組審議会 議事概要 (3/3)

・「溺れる女たち ～ミストレス～」

- 1話目のストーリー展開が大変早い作品である。
- 主人公たちの奔放さ、不倫の描写が部分的に過激な演出で描かれている。
- 男性の立場よりも、女性側の観点に重きをおき魅力的に描いたドラマである。
- 本編前の解説コーナーの取り組みに対する今後の予定について質問があり、検討して行きたい意向であることが回答された。

・「東京ガードセンター」

- 大変豪華なキャスティングである。
- 1つの空間でストーリーが進行するという設定がユニークである反面、世界観の創出に限界があり、今後の展開が気になるドラマである。
- 30分ドラマでどこまで若手スタッフの成長が描けるのかが気になるポイント。
- 若手俳優の起用に対し、より一層の魅力を発揮できるポテンシャルが感じられた。
- 実際の警備会社の司令室という舞台裏を想像させるリアリティが感じさせる描写が見受けられた。
- 海外ドラマの視聴層が多い局のオリジナル・ドラマとして、海外ドラマに引けを取らないクオリティのドラマが創出されることを期待したい。
- 今後もオリジナル・ドラマの制作を継続的に行う予定について質問があり、ドラマに限定せず、局の特徴を活かしたオリジナル番組を模索して行きたい意向が述べられた。

・特別番組「池上彰のワールドニュース深読みスペシャル」

- 池上彰氏の解説が大変わかりやすく、特番に留めず、もっと頻度を上げて定期的に放送することを全員から提案された。
- 聞き手役を、地上波放送で見られる番組と指向を変えて、池上氏に対してもっと専門的な質問のできる人物を配役しても面白かったのではないかと。例えば、学生や留学生といったキャスティングも考えられたのではないかとアイデアが述べられた。

・その他

- Dlife オリジナル番組として、オーディション番組を企画してはどうかというアイデアが述べられた。

以上